

## JR連合第23回

### 拡大代表者会議を開催

JR連合は、11月20日、都内において、第23回拡大代表者会議を開催し、貨物鉄産労からは、大杉委員長・辻村書記長・小山中央特執が出席しました。

開会挨拶後、松岡会長の挨拶では、安全問題、相次ぐ自然災害への対応、組織課題、政策課題、グループ会社との関わり、2019春闘、政治課題等について述べられ、続いて、河村事務局長よりこれまでの主な経過報告と当面の活動方針(案)、①JRの安全確立と信頼回復

- ②民主化完遂
  - ③さらなる組織強化・拡大と活動の充実
  - ④JRの発展に向けた政策実現
  - ⑤2019春闘と労働条件改善
  - ⑥新中期労働政策ビジョン(2019〜2013)の策定、プロジェクトの活動について
  - ⑦男女平等参画推進
  - ⑧政治活動
  - ⑨教育・広報・連帯・国際
- 以上9点の取り組みを提起しました。
- その後、各単組代表者より発言をし、貨物鉄産労からは辻村書記長が、一日頃より、JR連合・各単組の方々には、組織・政策課題をはじめ大変お世話になってお

り、改めて御礼申し上げます。また、7月の西日本豪雨では、岡山〜広島間が約100日間運休となったが、当初の予定よりも早い復旧となり、会社の経営的にはかなり助かり、この場を借りてご尽力に感謝を申し上げます。

まず、会社の経営状況だが、今回の度重なる自然災害で、営業収益がかなり落ち込み、中間決算では5億の経常利益を計上したが、保険を約40億使った数字であり、今後40億を返済していくことを考えれば、かなり厳しい状況と言わざるを得ない。このような状況下での年末手当交渉だが、組合として「会社の厳しい状況は理解するが、人件費に手をつけるのは言語道断である。期末手当は生活給の一部である。今回だけの成績で判断せず、28年、29年は連結決算100億以上を計上し、悲願であった鉄道事業において2年連続黒字を計上し、これは紛れもなく社員の頑張りであることを認識し、利益剰余金に着目して頂きたい」等を訴えてきた。会社は、「離れていった荷物に戻ってこない・定期列車が100%走っていない。この先、不安定要素が多い」と厳しい状況を訴えるに終始した。

今月16日、「基準内賃金×1.6ヶ月プラス0.1ヶ月、支払日12月7日」と回答を受け、「要求額との乖離が大きい、今回の災害で100億以上の営業収益が下り、会社の厳しい状況は理解する。今後、鉄道事業黒字に向け、人件費を削減して補填することには決してあつてはならない」と強く通告し席上妥結とした。

グループのロジ会社だが、西日本豪雨に伴い列車運行が出来なくなった影響に伴い、委託金について会社と議論したが、ロジ会社が大きな影響を受けることはないことを確認でき、期末手当交渉では、鋭意に取り組んでいく。

次に組織について。6月に東海地区において1名、9月に九州地区において1名、10月に九州・東海地区において各1名、計4名の拡大出来た。この間、お世話になった単組には、この場をお借りし御礼申し上げる。この流れを止めず全国に波及し展開していきたい。

次に安全について。来月12月16日、千早操車場構内死亡労働災害から1年を迎える。日々、安全安定輸送を目指し、安全最優先で業務に取り組んでいるが、事象は日々おきており、労災も多く発生している。大きな事象では、6月に起きた天竜川駅構内緊縮装置落下や、7月起きた越谷レイクタウン駅構内でのカバール落下が落下し旅客列車に衝突した事象は、一歩間違えれば大惨事になりかねない事象であった。



今後、季節は冬に向かい、自然災害等で列車の遅れが多く発生し、事象や労災のリスクも大きくなる。組合員には注意喚起をしていきたい。

次に統一地方選・参議院選挙だが、候補者必勝に向け、JR連合方針に基づき、取り組んでいく。政策課題については、青函共用走行問題が大きくあるが、何がベストなのか、JR連合とともに取り組んでいきたい。

次に、2019春闘について。昨年、19年ぶりにベア(300円)を勝ち取った。今年も組織春闘と位置付け、JR連合方針に基づいて方針を決めていきたい。尚、中央委員会は来年2月8日、愛知県一宮市で開催する。

最後に、会社は来年度、新人事賃金制度導入を考えており、当初7月提案予定が大幅に遅れ9月末提案となった。各地区本部で中身を精査し、11月9日に「申」を提出した。今後、鋭意に交渉を進めていきたい、と発言しました。

最後に、JR連合執行部より集約答弁を行い会議は終了しました。

### 第2回代表者会議を開催

12月1日、本部事務所において、第2回代表者会議を開催し、新人事賃金制度・2019春闘・組織課題・政策課題を主に話し合いを行いました。会議終了後、忘年会を開催しました。

### 今後の予定

- 12月12日  
JR連合政策シンポジウム 京都
- 2019年 2月8日(金)  
第3回代表者会議  
(第32回中央委員会)愛知県一宮市

### お願い

メロン物販  
ご協力をお願い致します。

事故も病気も  
予測はできない。  
共済が心強い。

みんなで暮らしをガード  
交通共済  
全国交通運輸産業労働者共済生活協同組合

家族の幸せを大きくサポート  
交通災害共済/生命共済/入院共済  
契約引受団体：明治安田生命保険相互会社